

水源の森 森林整備作業体験ツアー

- 【日 時】 令和3年10月23日(土) 10:00~16:30
【会 場】 王滝村 牧尾ダム、松原スポーツ公園周辺、新滝
【内 容】 下記のとおり

名古屋市内からのバスツアーということで、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催日を1か月遅らせるなど実施の可否が心配されましたが、バスは乗車定員の20名、自家用車7名の合計27名の方にご参加いただきました。ちなみにバスについては募集締切を待たず乗車定員の20名を上回る申込みがあり、お申込みいただいてもお断りしなければならない状況でした。

当日は、8月の豪雨災害の影響で国道19号は3カ所で片側交互通行があり、バスの到着時間が遅れたことから30分遅れのスタートとなりました。秋晴れの好天に恵まれたものの風が強く、オプションツアーのダム湖カヌー体験は早々に中止となり申し込まれた参加者は、とても残念そうでした。

今年で通水60年を迎えた牧尾ダムでは、愛知用水の建設に至るまでの経過説明や普段は入ることができない施設見学、60周年限定のダムカードのお土産に参加者は大変うれしそうでした。

ダム施設見学終了後、松原スポーツ公園に移動しての昼食となりました。地元食材を使ったお弁当を提供したところ、美味しと好評でした。

昼食後、今回のツアーの主目的である森林作業体験を行いました。木曾ツリーワークスの千村氏より作業内容と注意事項の説明があり、2班に分かれ各々道具を持って会場まで移動しスタッフの指示に従い作業を行いました。途中10分程の休憩を挟み1時間程作業を行いましたが、普段することのない手鋸を使っての灌木類の伐採に最初は戸惑っていた参加者も徐々に慣れ、スタッフに伐採する木を確認するなど夢中になって作業をしていました。作業後には見違えるようになった辺りの様子にとっても驚き、目に見える結果に満足した様子でした。

作業終了後、王滝森林鉄道乗車と王滝村の伝統食の「ひだみ」を使った棒パン焼きを体験いただきました。棒パンとは、棒にパン種を巻付け焚火でゆっくり焼き、程よい焼き目がついたところで棒からちぎって食べるもので、初めて食す「ひだみ」のパンをほお張り、じっくりと味わっていました。王滝森林鉄道は2年ぶりの運行ということで、鉄道ファンの間で情報が拡散共有されたようで、多くの方がカメラを片手に、あらゆる角度から撮影していました。

オプションメニューのカヌー体験が強風により中止とったため急遽、林鉄バイクの希望者を募ったところ10名の申込みがあり、新滝の見学者と分かれることになりました。

林鉄バイクは2人1組のペアで森林鉄道の軌道敷を自転車のペダルをこぎ、グラウンドを1周するコースで、秋晴れの紅葉の風景を十分満喫していました。

一方、新滝見学は、王滝村や御嶽教の歴史などについて地元スタッフが説明、案内し、裏見の滝の体験をするなど、マイナスイオン効果を十分感じていただきました。

参加者全員が日野百草丸王滝店で沢山のお土産を買われ、帰路につき終了となりました。

当日の様子



牧尾ダム（本田所長経過説明）



牧尾ダム施設内見学



作業説明（木曾ツリーワークス千村氏）



森林整備作業体験の様子①



森林整備作業体験の様子②



棒パン作り体験



王滝村森林鉄道①



王滝村森林鉄道②



林鉄バイク①



林鉄バイク②



新滝見学①



新滝見学②